

手入れされずに
放置されているエリア

低木がほとんどないのは、木々の間隔が狭く枝葉がなり地面まで光がとどかないから。木もじゅうぶん根を張れず、不健康に育ってしまいます。

定期的に
間伐しているエリア

適切に余分な下枝を切りおとす「枝打ち」や混み合った木を間引く「間伐」によって丁寧に手入れした状態で育つ木は利用価値が高まります。



土地の資源

山を健康に保つ

「木を伐採すること」は地球温暖化にマイナス影響を与えるというイメージがありますが、日本の森林の約4割を占める人工林は定期的に人が適切な間伐（間引き）による手入れをしないと木々は不健康で細いまま育ち、木材としての利用が難しくなります。

必要なだけ伐採・活用し次世代にむけ足りなくなった分を植える。このサイクルを保ち続けることが大切なのです。



「福地」

八百津町史によると「福地」という地名は、古来からの名称であって、村開拓の昔より縁起の良い文字をとって命名したものであろうと伝わっています。

自然豊かな
土地の資源を活かした
町おこしが盛んな場所。

福地で 過ごそう

町内でも一番の高齢化率でありながら、地域の有志で盛り上げる「福地 いろどりむら」をはじめとし、自然豊かな土地の資源を活かした町おこしが盛んなところです。



Sustainable Yaotsu

<https://nohaku802.yaotsu-mail.com>
八百津町 農泊体験サステナブル802

80%山のまちを元気にする協議会



八百津の歩きかた
Tips for Enriching Stay Yaotsu.